



# 東 龍 便 り

〒224-0023 横浜市都筑区東山田2-9-1 (電話) 045-594-5107

E-mail : [ky-yj-higashiyamata@city.yokohama.jp](mailto:ky-yj-higashiyamata@city.yokohama.jp)

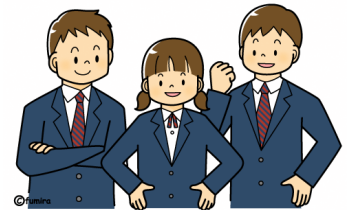
## 「失敗」とは？

安藤 位彦

朝晩の空気の冷たさとともに、学校を囲む木々の色づいた葉が落ち葉となり寒さがいっそう身に染みるところとなりました。ニュースを見ていると北国では、雪の便りをはや目にいたします。私事ですが、通勤に使っている車のタイヤをいつスタッドレスタイヤに変えなければならないかと考えています。

10月19・20日に行われました東龍祭には多くの保護者、地域の皆様方に、忙しい中をご来場いただきありがとうございました。今年も各学年の合唱にふれて東中生の素晴らしさを正に体感しました。特に最上級生である3年生の合唱には心を揺さぶられました。東中で積み重ねてきた思いを、合唱という形で曲想にのせて表現してくれたのではないのでしょうか。そして、3年生の合唱が1年生、2年生にとって来年度の目標になったことは間違いありません。東中にとって多くの実りを得た一日となりました。

さて、最近メンタルトレーナーの岡本正善さんの書いた本（逆境を生き抜く「打たれ強さ」の秘密）を目にすることがありました。その中で、もともと「失敗」などというものはないという事を、本の中では次のような例を出して教えてくれています。例えば、あなたが買い物をしていて、これまで使ったお金と、財布の残金の計算をしているとき、もし計算があっていなければ「うまくいかなかった」と思って計算をやり直すだけで、「失敗した！ どうしよう」とは思わないだろう。しかし、隣に誰かがいて「その計算、間違っているじゃないか」と指摘されたり、計算違いで誰かに迷惑をかけると、それは「失敗」ということになります。これと同じような例を私自身に当てはめたら、学校の階段を上っていて、ついつま先を階段の先に引っかけて、つんのめったとき「今の誰かに見られたかな？」とあたりを見回すだろう。もし誰かに見られたなら、「失敗しちゃったなあ」と思う度合いは、見られていなかったときに比べて、とても大きいだろうと思います。



「失敗」というのは、「他者の存在があるから生まれるのだ」という岡本さんの説明は「なるほど」と思えます。とすれば、「失敗を恐れるな」という言葉は、「人がどう思うかを気にするな」とほぼ同じ意味になるのでしょうか。ですから、人目を気にせず突き進むことが場合によっては、成功のカギになるのかもしれないですね。



## 第13回東龍祭



10月19日（木）、20日（金）の2日間で東龍祭が開催されました。ご多用中ご来場いただきましたことに感謝申し上げます。今年で13回目を迎え、各クラス、団体が1度きりのステージのためにと意気込んで作り上げてきた各種発表は大変見応えのあるものでした。



1日目の合唱コンクール、特に3年生全体合唱の「大地讃頌」の歌声は、その力強い歌声からも学年全体の一体感がアリーナ全体に響き渡る圧巻のものでした。これが

「伝統」というものです。合唱に続いて、個別支援級の朗読劇と演奏などが催されました。2日目は、生徒会、



放送委員会、吹奏楽部、ダンス部、演劇部、「ベトナムの子どもの家」活動などの発表がありました。劇、パフォーマンス、映像



などバラエティ豊かな発表に歓声が沸きました。また、教科や総合的な学習の時間、委員会、部活動などの展示発表も行われました。学習や活動の成果を共有できる、すばらしい取り組みとなりました。

こうして、体育祭、東龍祭の2つの「祭」が終わりました。どちらの「祭」も全校生徒が特別なエネルギーを注ぎ、観客にありったけの情熱や思いを声、体、表情、音色、息遣いで表現し、伝えようとする様子が観客に感動を与えたのではないのでしょうか。2つが終わった今、各団体が持ち帰った思い、または課題を今後



どうつなげていくのかが「祭」の本質です。つまりこの行き場を失ったエネルギーをどこへ向けていくのかが重要であり、集団の中で自己のあり方を見つめなおす機会とすることが「特別な時間」で終わらない鍵なのです。日常へ戻る中では、だからこそ



上手くいくことばかりではないでしょう。しかし第13回東龍祭テーマ「雲外蒼天～The sky is the limit～」を表現した東山田中学校であれば、その鍵で新しい扉をあけていけるはず



です。さらなる飛躍を期待しています。



### 《東龍祭を終えて 3年3組 横谷 泉帆》

今年の東龍祭は、全校のみなさんがひとつになってどんな場面でも盛り上がってくれました。合唱コンクールでは、どのクラスもきれいな歌声をアリーナ中に響かせることができました。ステージ発表では、部活動や委員会、個別支援学級のみなさんの素晴らしい発表を見ることができました。1, 2年生のみなさんには、来年もより良い東龍祭を作って

いってほしいです。

3年生のみなさんにとっては、最高の東龍祭になったと思います。全校のみなさん、そして先生方、ご協力ありがとうございました。



各クラスで制作した合唱垂れ幕



## 児童生徒交流会

11月1日（水）本校アリーナにて、合唱での小中交流会が行われました。東山田中学校区内の東山田小・山田小・北山田小の6年生と、合唱コンクールで金賞を受賞した1年1組、2年4組、3年5組が参加しました。今年度も児童による「ふるさと」、中学生による自由曲の発表、最後は児童・生徒全員で「翼をください」を歌いました。小学生らしい元気な歌声と中学生のきれいな歌声がアリーナに響き、充実した交流会となりました。



## 福祉体験学習



11月6日（月）本校アリーナにて、1年生の福祉体験学習が行われました。関内を中心に“やさしいまち”作りを目指して活動している『横濱ジェントルタウン倶楽部』から講師として桜井様・岡村様・松村様が、仲介役として都筑区社会福祉協議会から山口様が来てくださいました。講師の方々から前半は“こころのバリアフリー”について講話をいただき、後半は実際に生徒が車いす体験、アイマスク白杖体験を行いました。



# 快適な住まい方を学ぶ

今年度初めて、2年生の家庭科でパナホーム株式会社様との連携授業が始まりました。学校地域支援本部（やまたろう）の協力のもと、子どもたちに快適な住まいの工夫を知ってもらうために、パナホームの社員の方が来校して授業を行います。10月から12月に3回に分けて日程をとっており、各クラス1回ずつ2時間連続の授業を行います。



10月の授業の様子では、まず、住まい方の情報をすごろく風アレンジした「ボードゲーム」を教材として、ゲームを楽しみながらグループワークで学んでいきました。そして、生徒一人ひとりが、家づくりの工夫や生活環境を適切にととのえたる大切さについて学びました。続いて、映像などを使い、災害が起きたときなど、いざというときのための住まいの対策や、住まいとそこに暮らす人々の安全・健康・環境について講義がありました。

パナホームの方々によると、中学校でこうした授業を行うのは東山田中学校が初めてなのだそうです。これから授業を行うクラスの皆さんも楽しみにしてほしいと思います。

## ☆部活動記録☆

| 部活動名      | 大会・コンクール名（行事名）、結果等  |
|-----------|---|
| サッカー部     | 横浜 A ブロック大会 予選敗退  |
| 陸上部       | 神奈川県総合体育大会 陸上競技の部<br>男子4種競技 7位 廣瀬夕琉<br>女子共通1500m 6位 伊藤和香<br><br>横浜市秋季陸上競技大会<br>女子共通200m 第1位 澤田伶奈<br>男子2年 110mH 第8位 若月巴琉 |
| 男子バレーボール部 | 横浜市男女6人制バレーボール選手権大会 ベスト16   |
| 女子バレーボール部 | 神奈川県中学校男女6人制バレーボール新人研修大会<br>横浜地区予選会 ベスト8  |
| バスケットボール部 | 男子・女子 横浜市中学校バスケットボール新人大会<br>Dブロック大会 第5位   |
| ダンス部      | 神奈川県青少年ダンス発表会<br>東山田小学校こどもまつり   |
| 柔道部       | 日神杯横浜市柔道大会<br>中学1年の部 敢闘賞 工藤創人、金崎大樹  |

